

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	文章技法論	太田克彦	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
伝えるための道具として言葉を使う前に、しりとりや回文、川柳といったナンセンスやリズムによる言葉遊びから始める。与えられたキーワードで絵を描いたあとから作文するという方法により、想像力を広げていく。			
【講義概要】			
文章を書くことに対する苦手意識をまず払拭し、言葉を連ねる作業の楽しさを実感する。このトレーニングにより、言葉が美術制作をするときに、色や形や空間を構成するうえでより効果を上げていく役割を果たせるようにする。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	セルフポートレート…自己紹介		
2	ことば遊び①アクロスティック(頭文字で綴る文)		
3	ことば遊び②しりとり		
4	ことば遊び③アナグラム(文字の並べかえ)と回文		
5	ことば遊び④川柳		
6	記憶のスケッチ		
7	マインドマップ(次元を変えたメモの取り方)		
8	オートマティズムの実験		
9	夢を語る		
10	オノマトペを楽しむ		
11	民話のパロディをつくる		
12	文章に笑いを入れる		
13	1枚の絵ものがたり		
14	へたに見せない文章のコツ(講義)		
15	書評を書く		
16	自作を語る		
【成績評価方法】			
レポート課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1940年東京都生まれ。法政大学、桑沢デザイン研究所卒業。河出書房、『週刊ポスト』『ニューミュージック・マガジン』誌の編集者、CBSソニー出版(現ソニー・マガジズ)の編集長を経て、現在フリーのライターおよび編集者。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	色彩論Ⅰ	初谷希代香	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
色の効果を活用した作品の制作 (コンクール応募作品含む) AFT色彩検定3級対応			
【講義概要】			
『色が見えるしくみ』、『色のとらえ方』、『色の心理的影響』、『色の組み合わせ方とそのイメージ』など、色の専門知識の基礎を学習し、色の効果を活用した作品制作をおこないます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	課題①説明		
2	課題制作 課題①制作		
3	カラートランプPCCSトーン図作成 (199b配布済みの場合)		
4	色の表示方法 -色の三属性とPCCS-		
5	色の表示方法 -トーンの捉え方-		
6	色彩調和 -配色について- 課題③		
7	課題③制作		
8	課題③制作		
9	色彩心理 配色イメージ 課題④		
10	課題④制作		
11	色彩心理-錯視-		
12	光と色 眼のしくみ 照明 混色		
13	コンクール作品説明と制作		
14	コンクール作品制作、色彩検定質問対応 (希望者)		
15	コンクール作品制作、色彩検定質問対応 (希望者)		
16	コンクール作品制作、色彩検定質問対応 (希望者)		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格 (59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。色彩協会コンクールへの参加を図る。 1972年埼玉県生まれ。東洋工学専門学校 (現東京環境工科専門学校) インテリアデザイン科卒。 住宅地図会社勤務後、グラフィックデザイナーの伴侶のもとで、色彩提案、CGデザインアシスタントを行いながら、色彩講師、パーソナルカラーアドバイザーとして活動中。AFT認定色彩講師。UC級認定講師。UC級アドバイザー。1級カラーコーディネーター (ファッション)。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	MAC講座A	タカハシマホ	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
基礎的なPCの使い方、IllustratorおよびPhotoshopの基礎的知識、技術を身につけるための授業を行います。			
【講義概要】			
IllustratorおよびPhotoshopの基礎的知識、技術を繰り返しの実践によって身につける。 また、簡単な発表・講評を用いて発言することに慣れる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	Illustrator、基礎ツール		
2	Illustrator、基礎ツール		
3	Illustrator、基礎ツール		
4	【課題A】名刺を作る		
5	制作 チェック		
6	発表 講評		
7	Photoshop、基礎ツール		
8	Photoshop、基礎ツール		
9	Photoshop、基礎ツール		
10	【課題B】写真加工		
11	制作 チェック		
12	発表 講評		
13	【課題C】フライヤー制作		
14	制作 チェック		
15	制作 チェック		
16	講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格 (59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。アプリケーションソフトの基礎的な使い方を学ぶ。 1992年生まれ。デザイン専門学校卒業。ゲーム会社でのイラストレーターを経て、イラストデザイナー、アーティストとして活動中。LINEノベル挿絵や雑誌などのイラストを手がける。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	日本美術史A	北進一	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>最初に法隆寺金堂釈迦三尊像や玉虫厨子、広隆寺弥勒菩薩半跏思惟像など飛鳥時代の仏教美術から始まり、奈良時代の興福寺阿修羅像や東大寺法華堂不空羂索観音像、平安時代の神護寺薬師如来像と東寺講堂諸仏、平等院鳳凰堂阿彌陀如来像、平安仏画、鎌倉時代の運慶仏などの仏教美術を通観する。その後、平安末期の信貴山縁起絵巻や鳥獣戯画、室町時代の雪舟・雪村などの水墨画を取り上げ、古代・中世の日本美術の本質を探っていく。</p>			
【講義概要】			
<p>古代から中世までの日本美術は、東アジア文化圏の産物の一端として、そのイメージの源泉のほとんどを朝鮮半島や中国大陸に求めることができる。本講は、仏像・仏画・絵巻物・水墨画などを取り上げ、朝鮮や中国の作例と比較して、それらの造形（イメージ）の本質を具体的に追求していく。日本美術史を従来の様式論でおさえるのではなく、イメージの解釈という新たな視点から日本文化史の中に位置づけて探求してみたい。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	日本美術史の時代区分と飛鳥時代の伽藍配置		
2	飛鳥・奈良(白鳳)時代の国宝仏像		
3	奈良時代の国宝仏像		
4	飛鳥・奈良時代の国宝絵画と正倉院絵画		
5	密教の成立と平安時代の国宝仏像		
6	平安時代の国宝仏像		
7	平安時代の国宝仏画		
8	平安時代のやまと絵と四大絵巻		
9	平安時代の四大絵巻		
10	鎌倉時代の国宝仏像		
11	鎌倉時代の国宝絵画		
12	水墨画の成立		
13	室町時代の国宝絵画		
14	雪舟の国宝絵画		
15	雪村の絵画		
【成績評価方法】			
<p>レポート課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 和光大学卒業後、中国・山東大学に留学。群馬県立女子大学兼任講師。専攻は日本および東洋美術史。主にアジア各地域の仏教美術の変遷を追究している。著書に『ほとけを知る一仏像めぐりハンドブック』（シンコミュージック・エンターテイメント）『アシュラブック』（美術出版社）、共著に『カラー版東洋美術史』（美術出版社）。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	視覚文明史	太田克彦	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>伝えるための道具として言葉を使う前に、しりとりにや回文、川柳といったナンセンスやリズムによる言葉遊びから始める。与えられたキーワードで絵を描いたあとから作文するという方法により、想像力を上げていく。</p>			
【講義概要】			
<p>文章を書くことに対する苦手意識をまず払拭し、言葉を連ねる作業の楽しさを実感する。このトレーニングにより、言葉が美術制作をするときに、色や形や空間を構成するうえでより効果を上げていく役割を果たせるようにする。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	縄文時代の宇宙観		
2	縄文時代の音(土取利之の仮説)		
3	岡本太郎の原点		
4	シンクロニシティ(動物との共感覚)		
5	メタモルフォーゼの試み(フランシス・ベーコン)		
6	闇の力(ラブクラフト)		
7	ファッションの本質(ジョン・ガリアーノの仕事)		
8	戦争とアート		
9	プロパガンダとアート		
10	アール・ヌーボーとアール・デコ		
11	アニメーションの表現(手塚治虫とディズニー)		
12	ルパン三世に見る新しさ		
13	手の表現		
14	目の表現		
15	推敲と習作の重要性		
【成績評価方法】			
<p>レポート課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1940年東京都生まれ。法政大学、桑沢デザイン研究所卒業。河出書房、『週刊ポスト』『ニューミュージック・マガジン』誌の編集者、CBSソニー出版(現ソニー・マガジズ)の編集長を経て、現在フリーのライターおよび編集者。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	MAC講座B	高林直俊	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
前期のMAC講座をベースにPhotoshopとIllustratorを使用しながら、苦手意識は克服出来るレベルを目指します。			
【講義概要】			
ウェブや印刷物のデータ作成に必要な最低限な基礎知識やスキルなどを身につけ、出来る限りアプリケーションに触れる時間を意識した授業になります。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課題説明(PhotoshopとIllustrator)		
3	課題制作		
4	課題制作		
5	制作チェック		
6	発表		
7	課題説明(PhotoshopとIllustrator)		
8	課題制作		
9	課題制作		
10	制作チェック		
11	発表		
12	課題説明(PhotoshopとIllustrator)		
13	課題制作		
14	課題制作		
15	制作チェック		
16	総合講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。アプリケーションソフトの基礎的な使い方を学ぶ。 1978年東京都生まれ。2001年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。カワムラビデオアクティビティを経て2008年に独立。音楽関連の仕事を中心にCD・レコードなど50作品以上手掛ける。また音楽イベント・写真展・美術館企画展などのアートディレクションなども多数手掛ける。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	日本美術史B	北進一	1単位 25.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
最初に日本絵画の黄金時代とされる桃山時代の絵画、特に狩野永徳と長谷川等伯の絵画などから始まり、俵屋宗達や尾形光琳の琳派絵画など江戸時代の絵画へ展開してゆく過程を探究する。その後、池大雅や与謝野蕪村などの文人画、円谷応挙などの写実派、伊藤若冲などの奇想派や浮世絵師の絵画を取り上げ、江戸絵画の本質を探る。			
【講義概要】			
近世以降の日本美術は、中世までの宗教色の濃い美術から脱し、世俗的で鑑賞性の高い美術へ変貌してゆく。本講は、桃山時代の障壁画や江戸絵画などを取り上げ、独自の色彩と形態を追求してゆく有様を見てゆく。日本美術史を従来の様式論でおさえるのではなく、イメージの解読という新たな視点から日本文化史の中に位置づけて探求してみたい。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	狩野永徳の絵画		
2	狩野永徳の絵画		
3	長谷川等伯の絵画		
4	長谷川等伯の絵画		
5	長谷川等伯の絵画		
6	俵屋宗達の絵画		
7	俵屋宗達の絵画		
8	俵屋宗達の絵画		
9	尾形光琳の絵画		
10	尾形光琳の絵画		
11	伊藤若冲の絵画		
12	伊藤若冲の絵画		
13	池大雅の絵画		
14	与謝野蕪村の絵画		
15	浮世絵の変遷		
16	浮世絵の変遷		
17	浮世絵の変遷		
【成績評価方法】			
レポート課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 和光大学卒業後、中国・山東大学に留学。群馬県立女子大学兼任講師。専攻は日本および東洋美術史。主にアジア各地域の仏教美術の変遷を追究している。著書に『ほとけを知る一仏像めぐりハンドブック』（シンコミュージック・エンターテインメント）『アシュラブック』（美術出版社）、共著に『カラー版東洋美術史』（美術出版社）。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	英会話	ティム・ウェイレン	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
芸術やデザイン分野で活躍しようと思っている人たちに役立つ表現および単語に焦点を合わせて基本英会話レッスン。			
【講義概要】			
海外の友達と会話するときや、芸術・デザインの世界の現場で英語を使うときでも、スムーズにコミュニケーションができるように、レッスンはフリートーク、リスニング演習、簡単なテキスト（プリント）の三つの部分に分けられています。リラックスした雰囲気の中で自分の英語力を伸ばしましょう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	講義
6	講義	22	講義
7	講義	23	講義
8	講義	24	講義
9	講義	25	講義
10	講義	26	講義
11	講義	27	講義
12	講義	28	講義
13	講義	29	講義
14	講義	30	講義
15	講義	31	講義
16	中間試験	32	後期試験
【成績評価方法】			
<p>期末ごとに試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1960年カナダ ブリティッシュコロンビア州、ナナイモ生まれ。1978年-1979年日本滞在。1979年-1980年東京にて英語教師。1980年-1981年ブリティッシュコロンビア大学（カナダ バンクーバー）で日本語を学ぶ。1983年-1985年東京デザイン学校でグラフィックデザインを学ぶ。1987年-1995年企業にてテクニカルライター及び翻訳者として働く。1996年よりフリーランスの翻訳及び英語教師として働く。（主に個人指導）</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	フランス語I	内田雅之	2単位 37.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>全くの初心者を対象としてフランス語の初級文法や初歩的な会話表現を学びます。講義ではCDを常に使用しながら音声に慣れつつ、コミュニケーション・ツールとしての側面を最初から意識していきます。また、関係項目のプリントなども配布しながら、文化的側面に広く触れ、ともに考える機会となることを心掛けていきます</p>			
【講義概要】			
<p>前期は、挨拶や自己紹介などの簡単な会話表現から始め、そこから派生して実践的な方向へ進んでいく流れを、<ウォームアップのためのダイアログ>として学んでいきます。その過程で生じる疑問を解消する形で初歩的な文法を学んでいきます。後期は前期で学んだ一連のダイアログの習熟を常に忘れないようにしながら、テキストを使用した演習へと移行していきます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	講義
6	講義	22	講義
7	講義	23	講義
8	講義	24	講義
9	講義	25	講義
10	講義	26	講義
11	講義	27	講義
12	講義	28	講義
13	講義	29	講義
14	講義	30	講義
15	講義	31	講義
16	中間試験	32	後期試験
【成績評価方法】			
<p>期末ごとに試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1960年カナダ ブリティッシュコロンビア州、ナナイモ生まれ。1978年-1979年日本滞在。1979年-1980年東京にて英語教師。1980年-1981年ブリティッシュコロンビア大学(カナダ バンクーバー)で日本語を学ぶ。1983年-1985年東京デザイン学校でグラフィックデザインを学ぶ。1987年-1995年企業にてテクニカルライター及び翻訳者として働く。1996年よりフリーランスの翻訳及び英語教師として働く。(主に個人指導)</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語能力試験N1対策	蔣燕萍	2単位 63時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。 ②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。</p>			
【講義概要】			
試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	試験
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	講義		
16	講義		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。 2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	美術日本語	メロス言語学院講師	2単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
1.1分間スピーチ（30分） 2.美術関係記事についてのディスカッション（50分） 3.映像教材を用いた美術用語導入（90分） 4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分） 5.課外宿題			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座/就職セミナー	ゲスト講師、専任教員	1単位 9時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想法をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。 *1年生は夏課題と合わせて単位修得</p>			
【講義概要】			
9/26(土)同窓会特別講座、12/12(土)創形展特別講座、2/20(土)1年生就職セミナー +夏課題			
回	授業計画及び学習の内容		
1	同窓会特別講座		
2	創形展特別講座		
3	1年生就職セミナー 夏課題作品提出		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とする。夏課題の作品提出による担当専任教員の採点。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	技法力	鈴木吐志哉	1.5単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。</p>			
【講義概要】			
<p>技法力は様々な技法から生まれる表現を体験しながら探る授業です。まずフロッターージュから始まりモノタイプと、直接描くことでは得られない間接表現の魅力を学びます。さらに本校収蔵の葛飾北斎「神奈川沖浪裏」複製版の版木をキーワードに、自由な表現による木版画、コラージュへと展開させてゆきます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	フロッターージュ		
2	フロッターージュ講評会		
3	モノタイプ (トランスファー)		
4	シルクスクリーン		
5	シルクスクリーン		
6	シリコンリトグラフ		
7	シリコンリトグラフ		
8	木版画正方形		
9	木版画正方形		
10	木版画正方形およびコラージュ		
11	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	観察力	工藤礼二郎	3単位 66時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。</p>			
【講義概要】			
<p>観察力では単に描写力を鍛えるだけでなく、描くことを通して物事を深く見つめることのできる力を養っていきます。それはプロのクリエイターとして必要かつ重要なことです。じっくりと物と対話しながら描くことの面白さと大切さを学びます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	鉛筆デッサン(精密描写)		
2	鉛筆デッサン(静物)		
3	木炭デッサン(静物)		
4	木炭デッサン(静物)		
5	美術解剖学講座/人体クロッキー (男性)		
6	美術解剖学講座/人体クロッキー (女性)		
7	人体デッサン (男性座りポーズ)		
8	人体デッサン (女性寝ポーズ)		
9	水彩描写 (顔を描く)		
10	基礎油画		
11	基礎油画		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数) その他グループ展多数。無所属。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	構成力・アートとデザインと社会	山本哲次、田中北斗	1.5単位 37.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。</p>			
【講義概要】			
<p>構成力は構図、レイアウトなど、組み立てる力をつける授業です。対象物をじっくり観察し、特徴を捉え、どういう構図やレイアウトがベストなのか、作品の分析や制作を通して身につけていきます。同時にデザインの考え方を学んでいく授業です。</p> <p>○アートとデザインと社会：</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	シンボルマーク / (描写)		
2	シンボルマーク (観察・分析)		
3	アートとデザインと社会		
4	シンボルマーク / 色面構成 (モノトーン)		
5	アートとデザインと社会		
6	シンボルマーク / シンボルマーク制作		
7	アートとデザインと社会		
8	シンボルマーク / 検証 / 評価		
9	フライヤー / 分解・分析		
10	フライヤー / アイデアスケッチ		
11	フライヤー / 構築・表現		
12	フライヤー / 構築・表現		
13	フライヤー / 構築・表現		
14	フライヤー / 検証・評価		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格 (59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI.VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会 (D-8) JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	企画力	岡山拓史	1.5単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。</p>			
【講義概要】			
<p>個人が企画やアイデアを求められる場面は現代社会では非常に多くなっています。企画力ではアイデアの出し方、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、実現力などクリエイティブの世界で必要となるスキルを課題制作を通して養います。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課題制作A-1		
3	課題制作A-2		
4	課題制作A-3		
5	発表		
6	課題制作B-1		
7	課題制作B-2		
8	課題制作B-3		
9	課題制作B-4		
10	発表		
11	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー/アートディレクターとして活動中。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	表現力	飯田 淳	1.5単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。</p>			
【講義概要】			
<p>個人が企画やアイデアを求められる場面は現代社会では非常に多くなっています。企画力ではアイデアの出し方、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、実現力などクリエイティブの世界で必要となるスキルを課題制作を通して養います。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/課題説明①		
2	制作		
3	発表/課題説明②		
4	制作		
5	制作		
6	発表/課題説明③		
7	制作		
8	制作		
9	発表/課題説明④		
10	制作		
11	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈS Collection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー。『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』の口ゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『バルトウーズ』をプロデュース。TIS会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	伝統と現代	小林大悟	1.5単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>「日本美術」を題材に、ときに拡大解釈も混じえながら実技制作を行なっていきます。この授業で重きを置くのは技術習得や作品の出来上がりではなく、不慣れな画材を通じてそれぞれが実験・発見を積み上げていくことです。そのため前半では複数人での共同制作や鑑賞会といった少し変わった環境を織り交ぜ進めていきます。授業を通じ日本美術へと関心を持つきっかけをつくること、今後専門分野に分かれても応用していける引き出しをつくることを目指します。</p>			
【講義概要】			
<p>日本における「伝統」「工芸」とは何か。ワークショップ形式の授業を交えながら様々な素材や題材に触れることで、今後の引き出しとなる経験を積んでいきます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/課題説明		
2	「日本画」絵の具に触れてみよう①共同制作		
3	「日本画」絵の具に触れてみよう②共同制作		
4	「日本画」絵の具に触れてみよう③技法紹介/プチ講評		
5	墨ワークショップ①グループワーク		
6	墨ワークショップ②個人制作		
7	うちわ制作①制作準備		
8	うちわ制作②個人制作		
9	「日本画」絵の具と墨での制作①共同制作		
10	「日本画」絵の具と墨での制作②共同制作		
11	講評会		
12	銀箔ワークショップ①共同制作		
13	銀箔ワークショップ②個人制作		
14	発展ワークショップ①		
15	発展ワークショップ②		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1990年東京都生まれ。2014年多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻卒業。2017年アートコミュニケーター『とびらプロジェクト』3期修了。絵画作品の展示発表他、絵本作りや北海道でのレジデンスプロジェクト、ワークショップ活動など幅広く活動。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	前期ファインアート基礎	工藤礼二郎、 鈴木吐志哉	1.5単位 90時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
現代の絵画や版画に強い影響を与えた西洋近代絵画の種々の表現に触れ、絵に対する視野を広げながら描くことの楽しさを見つける授業です。			
【講義概要】			
「色彩を中心に描く」「装飾性を活かす」「多視点と再構成」「もう一つの世界」「落書きは絵になるか」これら5つのキーワードにそって近代の名作をひも解きながら様々な色材を使って描きます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	「多視点と再構成」制作
2	「色彩を中心に描く」制作	19	「多視点と再構成」制作
3	「色彩を中心に描く」制作	20	「多視点と再構成」制作
4	「色彩を中心に描く」制作	21	「多視点と再構成」制作
5	「色彩を中心に描く」制作	22	「多視点と再構成」制作・講評
6	「色彩を中心に描く」制作	23	「もう一つの世界」制作
7	「色彩を中心に描く」制作	24	「もう一つの世界」制作
8	「色彩を中心に描く」制作・講評	25	「もう一つの世界」制作
9	「装飾性を活かす」制作	26	「もう一つの世界」制作
10	「装飾性を活かす」制作	27	「もう一つの世界」制作
11	「装飾性を活かす」制作	28	「もう一つの世界」制作
12	「装飾性を活かす」制作	29	「もう一つの世界」制作
13	「装飾性を活かす」制作	30	4作品総合講評
14	「装飾性を活かす」制作		
15	「装飾性を活かす」制作・講評		
16	「多視点と再構成」制作		
17	「多視点と再構成」制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	前期ビジュアルデザイン基礎	山本哲次、岡山拓史	1.5単位 90時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
自分の好きなミュージシャンのCDジャケットとポスターをオリジナルで制作します。			
【講義概要】			
イラストや文字情報を限られたスペースの中に収めながら、音楽から受けるイメージを広げて、ビジュアルで表現することを学びます。			
授業計画及び学習の内容			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作
2	制作	19	制作
3	制作	20	制作
4	制作	21	制作
5	制作	22	中間講評
6	制作	23	制作
7	制作	24	制作
8	中間講評	25	制作
9	制作	26	制作
10	制作	27	制作
11	制作	28	制作
12	制作	29	制作
13	制作	30	総合講評
14	制作		
15	中間講評		
16	制作		
17	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技 選択必修	銅版画基礎	長島 充	2単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
銅版画の基本的なエッチング技法での制作により版画に親しんでもらう。線描と点描によるモノクロームの描写力・表現力を養う。			
【講義概要】			
腐食銅版画の中で最も基本的な技法であるライン・エッチング技法によりモノクロームの銅版画1点(18×24cm)を制作します。ドローイングにも感覚の近い線描と点描を用いて自然物を観察し銅板という物質に表現していきます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	下絵トレース・描画		
3	制作		
4	描画・彫版指導		
5	制作		
6	彫版指導・印刷実演		
7	彫版指導		
8	再彫版指導		
9	制作		
10	本刷り指導		
11	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1959年千葉県生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。1984年～日本版画協会展出品（以後毎年）、R.O.C.国際版画・素描ビエンナーレ版画部門銀賞、カブラム国際版画ビエンナーレ名誉メダル賞、日本版画協会展準会員賞、イビザ国際版画ビエンナーレ最高賞、環太平洋国際版画展2011特別賞受賞。その他国際版画展、美術館企画展多数出品。（社）日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技 選択必修	シルクスクリーン基礎	東樋口徹	2単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>シルクスクリーンは別名孔版と呼ばれ、型染めの型紙と紗が組み合わされて改良されたものです。枠に張った紗の目を unnecessaryな部分は塞ぎ、画の孔（穴）の部分からスキージによって下の紙にインクを落として刷る技法です。授業においてはいくつかの製版方法がありますが、現在一般的に行われる直接感光法を学びます。基礎を身に付け各自のイメージに近づける作品作りを目指します。</p>			
【講義概要】			
<p>基本的な水性インクで紙に刷る4版以上を使った作品（A4/21cm×29.7cm）を一点（紙8枚程度）制作。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/技法説明		
2	技法説明		
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	色々な刷り		
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007買上賞（三極）、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。（社）日本版画協会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション基礎	飯田 淳	1単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
イラストレーションの仕事と自分らしい表現の発見。			
【講義概要】			
イラストレーションの仕事において求められる事・物を企画。アイデアを通して学ぶ。イラストレーションのマーケットでのオリジナリティー、個性の重要性を作品制作で体験する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／課題説明		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	中間チェック		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	制作チェック		
10	制作		
11	制作		
12	中間チェック		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈSCollection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストグアイアリー。『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『パルトゥーズ』をプロデュース。TIS会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技 選択必修	テンペラ画	安藤孝浩	2単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>中世美術からルネッサンス期を経て現代にまで受け継がれてきた卵テンペラ技法を学ぶ。卵で作る絵具の造形の自由さ、楽しさを学ぶ。ここでは技法と描写の関係を理解し、絵画表現の幅広い可能性を追求する。絵画模写をしながらテンペラ技術の基礎と応用を修得する。</p>			
【講義概要】			
<p>木材板の基材に地塗りをしてパネルを作る。卵テンペラ（水性画材）をつくり、描画材として絵画模写をする。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、下地作り、下絵（転写）		
2	金箔分け、ポー口塗り		
3	金箔貼り		
4	金箔貼り		
5	卵テンペラによる描写		
6	卵テンペラによる描写		
7	卵テンペラによる描写		
8	卵テンペラによる描写		
9	卵テンペラによる描写		
10	卵テンペラによる描写		
11	卵テンペラによる描写		
12	卵テンペラによる描写		
13	卵テンペラによる描写		
14	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1965年東京都生まれ。1991年東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。2016年～2018年東京藝術大学非常勤講師。現在、科学とアートを横断する作品を制作。主な活動として、2009年～2012年宇宙航空研究開発機構（JAXA）とコラボレーションした文化・人文社会科学利用パイロットミッション『お地球見』（ISS国際宇宙ステーションにて実施）など。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技 選択必修	フレスコ画	杉崎匡史	2単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>中世美術からルネッサンス期を経て現代にまで受け継がれてきた卵テンペラ技法を学ぶ。卵で作る絵具の造形の自由さ、楽しさを学ぶ。ここでは技法と描写の関係を理解し、絵画表現の幅広い可能性を追求する。絵画模写をしながらテンペラ技術の基礎と応用を修得する。</p>			
【講義概要】			
<p>木材板の基材に地塗りをしてパネルを作る。卵テンペラ（水性画材）をつくり、描画材として絵画模写をする。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、モルタル作り		
2	原画選択、原画拡大		
3	モルタル再練り、地塗り 拡大した原画に穴アケ(カルトーネ)		
4	モルタル再練り、中塗り、シノピア		
5	モルタル再練り、上塗り①		
6	描画①、削り落とし		
7	モルタル再練り、上塗り②、描画②		
8	モルタル再練り、上塗り③ 描画③		
9	描画続き、削り落とし、上塗り④		
10	モルタル再練り、描画④、削り落とし		
11	描画⑤、削り落とし		
12	モルタル再練り、上塗り⑥ 描画⑥		
13	描画続き、削り落とし、上塗り⑦ 描画⑦、完成、片付け		
14	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1967年東京都生まれ。1993年東京藝術大学大学院美術研究科壁画専攻修了。1993年より個展を中心にフレスコ技法を使った立体・レリーフ作品を発表。近年はより作品を平面化し、フレスコ技法を用いた痕跡と色彩のみで構成される作品を発表している。2001年トーキョーワンダーウォール賞。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アニメーション基礎	飯田 萌	1単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
手描き、コマ撮り（実写も可）など、自由な表現でアニメーションを制作。編集作業はPremireを使用する。			
【講義概要】			
映像研究と制作（自由な発想で）			
授業計画及び学習の内容			
回			
1	ガイダンス+制作		
2	制作		
3	作画と作品鑑賞		
4	制作		
5	制作		
6	作画と作品鑑賞		
7	制作		
8	制作		
9	作画と作品鑑賞		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	上映会(講評)		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 2010年多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。2012年同大学院修了。フジテレビ『ベビスマ』、NHK『デジスタ・ティーンズ』にて作品紹介。アニメーション作品『臓器大学』が学生CGコンテスト銀賞、TSSショートムービーフェスティバル佳作受賞など。2015年タンパリンギャラリーにて個展。その他、MONSTER展（ヒカリエ）、MONSTER展inNYなど多数。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	人物着彩	工藤礼二郎	1単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では、単に人体の再現的描写にとどまらず、それを取り巻く空間との関係性や近代以降の人体表現の在り方を様々な角度から検証する。			
【講義概要】			
人体コスチュームモデルを固定ポーズにより描画する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	学生間での色材によるクロッキー		
3	モデルによる色材によるクロッキー		
4	ポーズ決定/モデルによる制作		
5	モデルによる制作		
6	モデルによる制作		
7	モデルによる制作		
8	モデルによる制作		
9	モデルによる制作		
10	モデルによる制作/中間講評		
11	モデルによる制作		
12	モデルによる制作		
13	モデルによる制作		
14	モデルによる制作		
15	モデルによる制作		
16	モデルによる制作		
17	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	制作と展示	久保田球愛	1単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では、単に人体の再現的描写にとどまらず、それを取り巻く空間との関係性や近代以降の人体表現の在り方を様々な角度から検証する。			
【講義概要】			
人体コスチュームモデルを固定ポーズにより描画する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	グループワーク		
3	グループワーク		
4	グループワーク		
5	中間チェック		
6	グループワーク		
7	グループワーク		
8	グループワーク		
9	グループワーク		
10	作品展示飾り付け		
11	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1991年東京生まれ。日本大学芸術学部版画専攻卒業。2018年よりフリーのイラストレーター・デザイナーとして活動を始める。同年、タンバリンギャラリーにて個展、その他企画展等に多数出展。音楽関係のアートワークを中心に幅広く活動中。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	グラフィックデザイン基礎	奥定泰之	1単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>人に見せる、人を驚かせる、人を誘惑する、などの実社会におけるグラフィックデザインの基本的な役割を考えた上、それを踏まえた小型グラフィック作品を考える。紙媒体に使用される文字について考える。</p>			
【講義概要】			
<p>第一課題：グラフィックデザインやファインアート、イラストなどのジャンルを超えて、ものを作ることの楽しさを体感する。また、タイポグラフィや色面構成などのデザインの基礎を理解した上で、いくつかの小型グラフィック作品を試作する。</p> <p>第二課題：文字のデッサンを通して文字の形を知る</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス、課題①の説明		
2	制作		
3	第2課題説明		
4	制作チェック		
5	課題①プチ講評、課題②の説明		
6	制作		
7	第2課題プチ講評		
8	制作		
9	課題②プチ講評、課題③の説明		
10	制作		
11	制作のチェックと指導		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	制作のチェックと指導		
16	制作		
17	制作		
18	課題③を含めた全体講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1970年愛媛県生まれ。グラフィックデザイナー。株式会社オクサダデザイン代表。主に書籍や雑誌のデザインを手がける。第40回、46回造本装幀コンクール入賞。第2回竹尾賞優秀賞。</p> <p>共著に『感性と社会』（論創社）。『近代デザイン史』（武蔵野美術大学出版局）。JAGDA会員。早稲田大学非常勤講師。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	コミック基礎	石山さやか	1単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>人に見せる、人を驚かせる、人を誘惑する、などの実社会におけるグラフィックデザインの基本的な役割を考えた上、それを踏まえた小型グラフィック作品を考える。紙媒体に使用される文字について考える。</p>			
【講義概要】			
<p>第一課題：グラフィックデザインやファインアート、イラストなどのジャンルを超えて、ものを作ることの楽しさを体感する。また、タイポグラフィや色面構成などのデザインの基礎を理解した上で、いくつかの小型グラフィック作品を試作する。</p> <p>第二課題：文字のデッサンを通して文字の形を知る</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／講師自己紹介／課題1「自分を元にしたキャラクターを作ってみよう」		
2	制作		
3	制作		
4	課題1・講評		
5	課題2「1ページ漫画を描いてみよう」／講義「漫画を描く基礎的な手順」「テーマを見つける発想法」		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	進捗チェック（ネーム）／講義「漫画の画材いろいろ」		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	進捗チェック（下書き・ペン入れ）／講義「現代デビュー考」		
15	制作		
16	制作		
17	制作		
18	課題2・講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1981年埼玉県生まれ。創形美術学校ビジュアルデザイン科イラストレーション専攻卒業。都内の広告代理店で勤務後、イラストレーター・漫画家としての活動を始める。主な仕事は書籍装丁、雑誌挿絵、児童書挿絵、CDジャケットなど。2017年に初の単行本『サザンウィンドウ・サザンドア』（祥伝社）発売。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	専攻別ワークショップ(絵画造形専攻)	工藤礼二郎	1単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>「おとこ・おんな」「広い・狭い」のように、意味上の対(つい)をなす言葉を学生各自で選択しそれらを元に二枚の作品を描く。言葉のもつイメージをいかに絵画に置き換えるかをそれぞれの使用画材の特性も考慮しながら構築する。</p>			
【講義概要】			
<p>対義語をテーマに2枚の作品(F8号)を描く。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス・テーマの決定、選択		
2	描画材料選択/制作		
3	制作指導		
4	制作		
5	制作指導		
6	制作		
7	制作		
8	制作指導		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作指導		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作指導		
17	制作		
18	最終講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエアンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	専攻別ワークショップ(版画専攻)	鈴木吐志哉	1単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
水性木版画の基本技術の習得。			
【講義概要】			
水性木版画1版単色(墨摺り) 版木サイズ 900×600mm モノクロームの大型版木に取り組み制作することで、木版画水性摺り技法の基本と魅力を体験します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	木版画について・版木の準備		
2	版木にドローイング～彫版		
3	彫版		
4	彫版		
5	彫版		
6	彫版/摺りデモ		
7	彫版		
8	彫版		
9	表現の展開(彫版編)		
10	彫版		
11	彫版		
12	彫版/試し摺り		
13	彫版/試し摺り		
14	試し摺り/彫版		
15	試し摺り/彫版/本摺り		
16	彫版/本摺り エディション/水張りについて		
17	彫版/本摺り		
18	最終講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展(神奈川県立近代美術館賞)。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ(大賞)他、(社)日本版画協会会員。版画学会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	専攻別ワークショップ (イラストレーション・絵本専攻)	飯田 淳	1単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
オリジナリティーのある作品を制作し、自分の「良さ」気づく事を目標とする。			
【講義概要】			
見えない物を、見える物にする。例えば、味覚や臭覚、音をビジュアル化する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	制作チェック		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	制作チェック		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	制作チェック		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
17	制作		
18	最終講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈS Collection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー。『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『パルトゥーズ』をプロデュース。TIS会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	専攻別ワークショップ (グラフィックデザイン専攻)	山本哲次	1単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>文字をビジュアル表現のモチーフとして考えることにより、タイポグラフィに対する考え方を学び、さらに1年間で身につけた基礎力を基にコミュニケーションと表現の関係性を得ます。見る人に告知内容がしっかり伝わるのが大切です。</p>			
【講義概要】			
<p>ポスターとフライヤーを、文字をモチーフとしたビジュアルを用いて制作します。その際、配布された原稿の情報が伝わるようにレイアウトします。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス		
2	制作		
3	制作チェック		
4	制作		
5	制作		
6	制作チェック		
7	制作		
8	制作		
9	中間講評		
10	制作		
11	制作チェック		
12	制作		
13	制作チェック		
14	制作		
15	制作		
16	制作チェック		
17	制作		
18	最終講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI.VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会(D-8)JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	専攻別ワークショップ (アニメーション&コミック専攻)	岡山拓史	1単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>短期間での企画出し、撮影、編集、スケジュール管理など映像制作の一連の流れを体験し、制作した動画をメディアで配信する。</p>			
【講義概要】			
<p>映像制作の現場で必要となる撮影方法や編集技術の基礎、昨今のメディアやデバイスの特性を学びながら映像を制作する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス		
2	制作		
3	制作チェック		
4	制作		
5	制作		
6	制作チェック		
7	制作		
8	制作		
9	中間講評		
10	制作		
11	制作チェック		
12	制作		
13	制作チェック		
14	制作		
15	制作		
16	制作チェック		
17	制作		
18	最終講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー/アートディレクターとして活動中。</p>			